情報公開文書

（S25-05）

研究課題名	閉塞性大腸癌に対する経肛門的減圧チューブ挿入の有用性
研究期間	診療録の検索期間として、 西暦 2008 年 1 月から西暦 2012 年 12 月の 5 年間
研究の目的と意義	閉塞性大腸癌術前に挿入される経肛門的減圧チューブが、日常臨床においてどの程度人工肛門回避や術後縫合不全の防止に役立っているかを多施設で検討することを目的に、参加協力施設で過去 5 年間（西暦 2008 年 1 月から西暦 2012 年 12 月まで）に治療を受けられた約 200 名の患者さんのデータを収集します。収集されたデータについて解析・公表することによって、閉塞性大腸癌患者の医療・福祉に貢献できると考えられます。
研究方法	過去 5 年間（西暦 2008 年 1 月から西暦 2012 年 12 月まで）に治療を受けられた約 200 名の患者さんの診療録の中から必要なデータだけを用い、 ＜術前介入の有無＞ 　内科的介入の方法、治療実施日、処置の成否、処置に伴う合併症 ＜外科手術の結果＞ 　手術日、手術手技の種類、腸管吻合の状況（人工肛門の有無）、術後合併症等について解析します。 また、データは匿名化されるので、プライバシーの侵害はおこりません。患者さんの個人を尊重し、個人情報は厳重に保護し、取り扱いには十分留意し、「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して実施しております。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	【研究責任者】 京都第二赤十字病院　消化器内科 医長　河村　卓二 〒602-8026　京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代）　FAX：075-256-3451（代）